

環境ラベル制定 しCNに貢献

前田道路

前田道路は、低炭素台材を広く周知するため、国際規格ISO14021(タイプII)を満たす自己宣言型の環境ラベル「MAEDA サークュラー」を制定した。同ラベル



低炭素台材
MAEDA ROAD

環境省 環境ラベル等データベース MAEDA サークュラー (env.go.jp)

ロゴマーク

は環境省のデータベースに登録しており、商標登録を進めている。低炭素台材を推進し、カーボンニュートラル(CN)に貢献する。

同社は、CO₂排出削減目標を2030年度に13年度比50%削減、50年度にはCNを目指している。これまでバイオマス由来の燃料、再生可能エネルギー由来の電力(RE100)の使用により、工場や営業所の低炭素化を進めてきた。アスファルト舗装材の製造工場では、フォームドアスファルト装置(LEAB)があり、さらなるCO₂排出量削減の取り組みをしている。ロゴマークは、最小限のイ

ンプットでサステナブルな循環社会を形成するというサーキュラーエコノミー(循環経済)の概念を表現。低炭素台材の製品販売、低炭素台材を使用した工事を対象に、商品伝票やミルシート、工事完了報告書に付与される。

これにより、商品購入者は環境負荷低減効果を理解しやすくなるほか、環境負荷低減の促進が期待される。また、同環境ラベルは低炭素台材の販売時に発行されるCO₂排出削減量を示したアクションレポートに付与されるため、施業者がスコップ3の取り組みを積極的にPRする際の効果も期待できる。

